

ActiveImage ProtectorTM Serverとは

Windowsサーバーを丸ごと保護するバックアップソリューション

ActiveImage ProtectorTM Server は、Windowsサーバーの OS、アプリケーション、データを含むシステム全体をイメージとして取得し、包括的に保護できるバックアップソリューションです。万が一の障害やシステムトラブルが発生した場合でも、バックアップ時点の状態へ迅速に復元でき、業務停止時間の最小化とBCP（事業継続）対策の強化に貢献します。直感的に操作できる日本語管理コンソールを備え、少人数のIT運用体制でも安定したバックアップ体制を構築できます。

容易な操作性

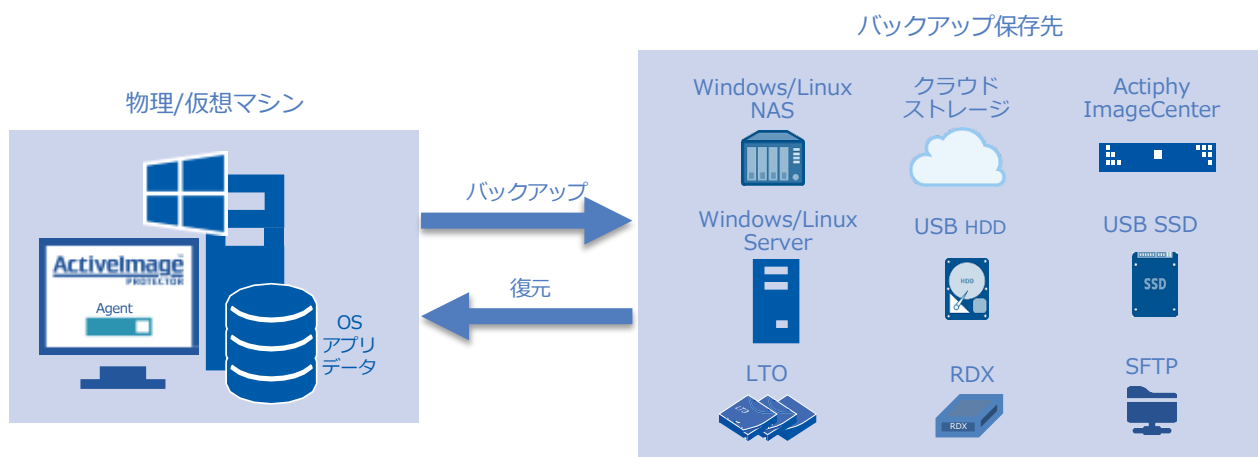
バックアップと復元の操作は、ウィザード形式で手順に沿って簡単に実行可能。専門知識に依存することなく容易に操作できるため、管理者の運用負担を大幅に軽減します。

柔軟な復元

システム全体からディスク、ファイル/フォルダー単位まで、用途に合わせた柔軟な復元に対応。さらに、仮想環境への復元にも対応しており、障害発生時には代替マシンとして迅速に活用できます。

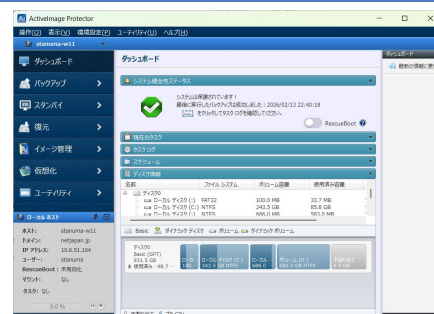
セキュリティ対策

サイバー攻撃やランサムウェアによる暗号化・破損時でも、安全なバックアップからクリーンな状態へ復旧可能。オフラインや隔離バックアップの活用により、リスクをさらに抑制します。



特長：復旧を前提とした設計思想と運用のしやすさ

ActiveImage ProtectorTMは、システム規模や運用ポリシーに応じた柔軟なバックアップ運用が可能で、単なるデータ保護ではなく「迅速かつ確実に復旧できること」を前提に設計されてます。バックアップの取得だけでなく、復元の確実性と実行の容易さを考慮して設計されているため、障害発生時にも迷わず復旧作業を進めることができます。操作は日本語管理コンソールから実行でき、バックアップおよび復元は、ウィザード形式で手順に沿って進められます。日常運用から緊急時の復旧作業まで、専門知識に依存しない操作性を実現することで、担当者の対応レベルを標準化し、管理者の運用負担を軽減します。

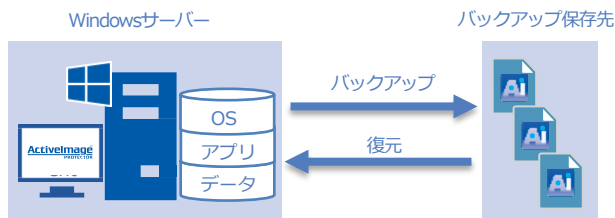


このような課題を解決します。

- ✓ サーバー障害時の復旧に時間がかかる。
- ✓ バックアップはあるが復元手順が複雑で不安がある。
- ✓ ランサムウェア対策として安全なバックアップを確保したい。

システム全体を高速にバックアップ／復元

システム全体を高速にバックアップし、サーバーの稼働環境をそのまま保存できます。OS、アプリケーション、ドライバー、各種設定を含めて取得できるため、障害時にはバックアップ時点の状態へ一括して復元できます。ペアメタル復元にも対応しており、新しいハードウェアへも迅速に復旧できるため、業務停止時間を最小限に抑えます。



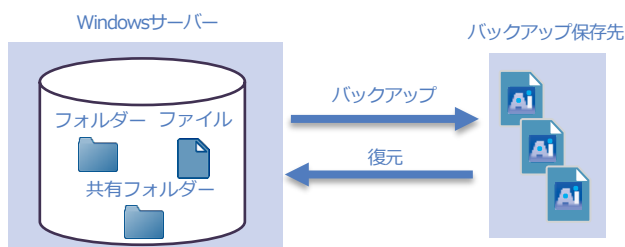
特定のファイル／フォルダーの復元

システム全体のバックアップから、必要なファイルやフォルダーだけを選択して復元できます。システム全体を戻すことなく、誤って削除・更新してしまったデータのみをピンポイントで復旧できるため、復元作業の手間を軽減し、業務への影響を最小限に抑えます。

※クラウドストレージ上のバックアップからは、ファイル／フォルダーを直接復元できません。事前にローカルまたは共有フォルダーへダウンロードしてから復元してください。

必要なデータだけを選択してバックアップ

システム全体だけでなく、特定のフォルダーやファイルを指定したバックアップもおこなえます。不要なデータを除外する設定にも対応しているため、保存容量や取得時間を最適化できます。共有フォルダーを対象としたバックアップも可能で、業務データの保護にも適しています。



保存容量を抑える増分・圧縮技術

増分バックアップでは、前回のバックアップから変更された部分のみを取得するため、バックアップ時間と保存容量を大幅に抑えることができます。また、重複排除圧縮により、バックアップを実行しながら同一データの重複を自動的に排除し、さらに圧縮することで、ストレージ使用量を削減します。

増分バックアップ



柔軟なスケジュールと世代管理

バックアップの実行は、運用方針に合わせて柔軟にスケジュール設定できます。単発実行に加え、週次や月次、曜日指定などの詳細な設定が可能で、フルバックアップと増分バックアップを組み合わせた効率的な運用を構築できます。世代管理機能では保持数や保存期間を設定でき、古いバックアップを自動整理することで、保存容量を適切に管理できます。

設定例：

- ・毎週日曜日は、フルバックアップを実行
- ・月曜～土曜日は、1回/1日、増分バックアップを実行



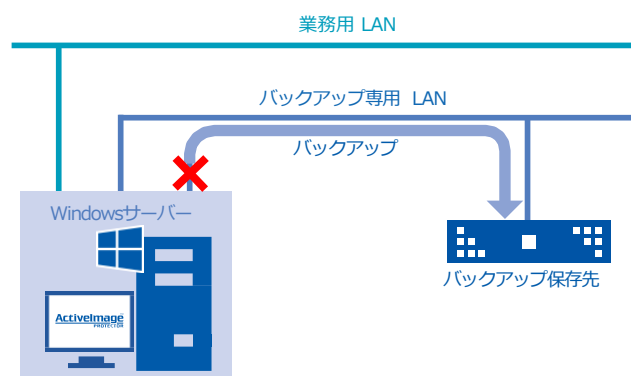
多様な保存先への対応

保存先は、ローカルディスク、USBストレージ、NAS、SAN、SFTPサーバー、テープ装置、クラウドストレージなど、幅広いメディアに対応しています。システム構成やセキュリティポリシーに応じて最適な保存先を柔軟に選択でき、オンプレミスとクラウドを組み合わせたバックアップ構成にも対応可能です。

バックアップデータの保護対策

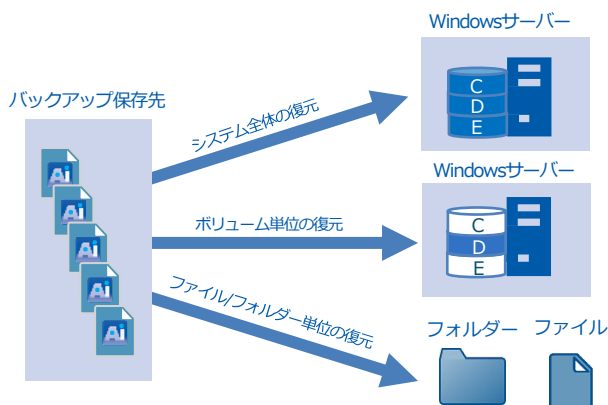
バックアップ完了後に保存先を自動的に切り離す隔離機能を備えており、ディスクのオフライン化やネットワーク遮断などの方法によって、バックアップデータを論理的に分離できます。これにより、ランサムウェアなどの不正アクセスや攻撃による被害リスクを低減することが可能です。併せて、バックアップ結果やエラー情報、ライセンス期限などをメールで通知でき、運用状況を継続的に把握できます。

バックアップ専用 LANのネットワークを遮断



多彩な復元方法

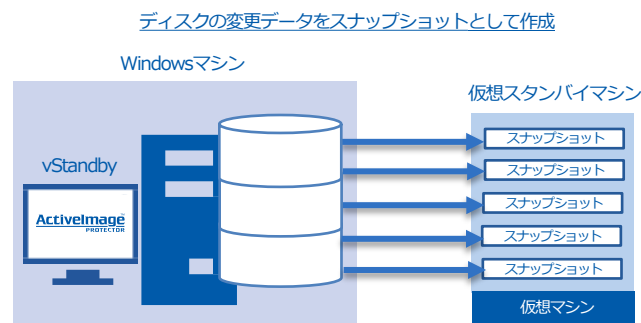
システム全体の復元はもちろん、ボリューム単位、ファイル／フォルダー単位での復元にも対応しています。目的や障害レベルに応じて、必要な範囲だけを選択して復旧できるため、システム停止を最小限に抑え、状況に合わせた最適なリカバリーを実現します。



即時起動による業務継続

Microsoft Hyper-V、VMware vSphere、Linux KVM、Proxmoxなどの仮想環境上に、待機用の仮想マシンを事前に構成しておくスタンバイ運用にも対応しており、障害発生時には即座に切り替えて業務を継続できます。

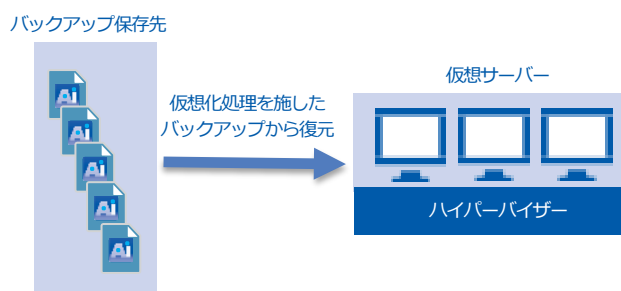
※ 仮想スタンバイマシン作成先の仮想環境には、別途、ActiveImage Protector™のライセンスが必要となります。



仮想環境の活用による柔軟な復旧

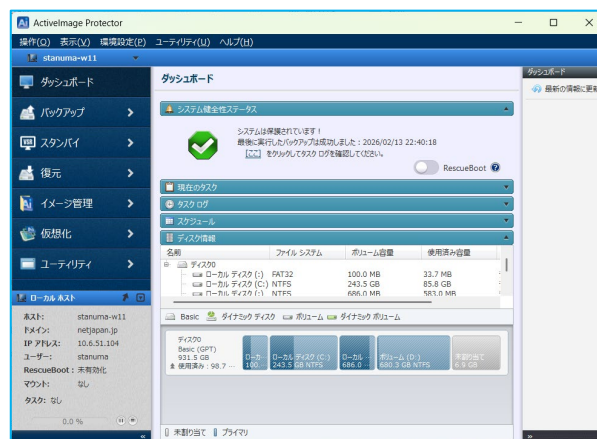
物理サーバーのバックアップから、Microsoft Hyper-V、VMware vSphere、Linux KVM、Proxmoxなどの仮想環境へ直接復元し、仮想マシンとして起動することができます。ハードウェア障害発生時でも、迅速に仮想基盤へ切り替えて代替運用を開始できるので、業務停止時間を最小限に抑えることが可能です。さらに、本番環境と同等のシステムを短時間で仮想環境上に再現できるため、テスト・検証用途や移行作業にも活用できます。

※ 復元先の仮想環境には、別途ActiveImage Protector™のライセンスが必要となります。



管理性と運用効率の向上

直感的に操作できる日本語GUIにより、初めての方でも迷わず利用できます。システムの健全性チェックやバックアップ／復元タスク、スケジューリングは管理コンソールで一元管理が可能です。設定や復元はウィザード形式で進められるため、専門知識がなくても容易に運用できます。さらに、リモート管理機能により、複数拠点・複数の管理対象マシンをまとめて効率的に管理し、運用負荷を軽減します。





株式会社 アクティブアイ 〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番 NCO神田紺屋町
TEL : 03-5256-0877 FAX : 03-5256-0878 <https://www.actiphy.com> sales@actiphy.com

© 2026 Actiphy, Inc. All rights reserved. ActiveImage Protector, vStandby, Actiphy ImageCenter, HyperBoot, ReZoom It!, BootCheck, ActiveVisor, RescueBoot, HyperAgentは、株式会社 アクティブアイの商標です。
Microsoft、Windows、Windowsロゴは、米国および諸外国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。その他のブランド名および製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。